



平成29年度 ビルクリーニング技能検定受検案内(2級)

厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-12-5 ビルメンテナンス会館 5F

TEL 03-3805-7560 / FAX 03-3805-7561

URL <http://www.j-bma.or.jp>



技能検定制度は、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的に、働く人々の有する技能を一定に基準により検定し、国として証明する制度で、昭和44年制定の職業能力開発促進法に基づき実施されています。

昭和57年5月にはビルクリーニングが新たに検定職種として追加され、ビルクリーニングに従事する人々の技能が国家検定として認められ、平成28年4月からビルクリーニングは単一等級から1級・2級・3級・基礎1級・基礎2級の複数等級として制度変更が行われました。技能検定に合格した者にはそれぞれ等級ごとの合格証書が交付され、技能士の称号が与えられます。技能士を目指し、ふるって受検して下さい。

1. 平成29年度(2級)技能検定実施日程

事項	摘要
受検案内・申請書配布	平成29年3月10日(金)～4月13日(木)
受付期間	平成29年3月28日(火)～4月13日(木) 受付時間は平日10時～17時 1) 申請書を持参する場合: 受付最終日(4月13日)の17時まで 2) 申請書を郵送する場合: 受付最終日(4月13日)の消印有効 注) ネット申請においては、申請書のダウンロードのみ対応いたします。
受検票交付・実技試験問題の公表	平成29年6月2日(金) 弊協会よりホームページにて実技作業試験問題を公表するとともに、受検申請者に対して、受検票(学科・実技試験の会場や集合時間等を記載)を発送します。 注) 平成29年6月12日(月)までに受検票が到着しない場合は、弊協会又は各地区試験事務所までお問い合わせ下さい。
学科及び実技ペーパーテスト実施日	平成29年6月18日(日) 注) 指定された試験日は、いかなる理由があっても変更できません。
実技作業試験実施期間	平成29年6月19日(月)～平成29年7月21日(金) 注) 指定された試験日は、いかなる理由があっても変更できません。
合格発表	平成29年8月31日(木)

2. 受検資格

等級	受検資格
2級	2年以上の実務経験(注)を有する者
	3級の技能検定に合格した者
	建築物衛生管理科の職業訓練指導員免許を有する者
	ビルクリーニングに関する短期課程の普通職業訓練で、総時間700時間以上のものを修了した者で、1年以上の実務経験を有する者

注) 「実務経験」とは、パート・アルバイトを含めて、概ね1週24時間以上勤務するものをいう。

注) 実務経験年数等の基準日は、当該年度の受付期間の最終日(平成29年4月13日現在)とする。

3. 試験の免除

対象者	免除の範囲
1級あるいは2級の学科試験に合格した者	2級の学科試験の全部
1級あるいは2級の実技試験に合格した者	2級の実技試験の全部
1級のビルクリーニング職種に係る短期課程の普通職業訓練の的確に行われたと認められる修了時の試験（注）に合格した者で、当該訓練を修了した者	2級の学科試験の全部
2級のビルクリーニング職種に係る短期課程の普通職業訓練の的確に行われたと認められる修了時の試験（注）に合格した者で、当該訓練を修了した者	2級の学科試験の全部
ビルクリーニング職種に係る指定試験機関技能検定委員を5年以上務めた者	2級学科試験及び実技試験の全部
平成27年度までの単一等級によるビルクリーニング技能検定試験において学科試験に合格した者	2級の学科試験の全部
平成27年度までの単一等級によるビルクリーニング技能検定試験において実技試験に合格した者	2級の実技試験の全部

注) 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会が的確に行われたと認めた試験に限る。

注) 試験の免除にあたっては、過去に実技又は学科試験に合格している者であっても、合格通知書の写し等、免除を証明し得る書類を添付して申請しなければ、免除は受けられません。また、受付期間終了日以降に、免除を有することが判明しても免除は受けられませんので、十分注意して下さい。

4. 試験の概要

(1) 学科試験

等級	設問	制限時間	合格基準
2級	真偽法 25 問及び択一法 25 問	60 分	満点(100点)の65%以上

(2) 実技試験

①実技作業試験

等級	課題	標準時間	打切時間	配点	合格基準
2級	課題1：弾性床ドライ清掃作業	12分	14分	30点	各課題の40%以上及び実技ペーパーテストを含めた合計(100点)の60%以上の得点。 *ただし、標準時間を超えると減点、打切時間を超えると失格となります。
	課題2：繊維系床しみ取り作業	8分	10分	30点	
	課題3：トイレ定期清掃作業	10分	12分	20点	

②実技ペーパーテスト

等級	ペーパーテスト	制限時間	合格基準
2級	ビルクリーニング作業における積算見積等に関する問題	60分	満点(20点)の40%以上

5. 受検手数料及び納付方法

(1) 受検手数料（非課税）

等級	学科試験	実技試験	合計
2級	3,500円	18,000円	21,500円

(2) 納付方法

受検手数料はペイジー・コンビニ決済によるお支払い(払込み)となります。払込手数料は、弊会が負担いたします。
注) Pay-easy (ペイジー) とは、受検手数料のお支払いを、銀行等金融機関のネットバンクや、銀行・郵便局のペイジー対応ATMから支払うことができるサービスです。

- ①受検申請書と写真確認書の受領後、5月上旬に払込票を送付しますので速やかに払い込み下さい。5月15日(月)までに払い込みがない場合は、受検辞退(受検手数料未納)としてみなしますので、ご注意ください。
- ②払込票記載の指定期日までに、銀行・郵便局のペイジー対応ATM、あるいはお近くのコンビニ等にてご入金ください。ペイジー・コンビニ決済の場合は、払込受領証(写し)を写真確認書に貼り付ける必要ありません。

(3) 受検手数料の返還

職業能力開発促進法(旧・職業訓練法)施行令(昭和44年政令第258条)第6条第3項により、申請を受理した後、以下の場合を除き、受検手数料の返還は致しません。

- ①受検資格を満たしていないことが判明し、受検を認めない場合。
- ②平成29年5月15日(月)までに受検申請者本人から受検申請を取り消す旨の申し出があった場合。
- ③受検手数料の超過払込みが判明した場合。

6. 受検申請手続き

(1) 申請書類の請求

- ①受検希望者は、それぞれ受検を希望する地区の受験事務所(「11.実施地区及び試験事務所」参照)窓口で直接、技能検定受検申請用紙を請求して下さい。
- ②郵送を希望する場合は、あて先明記の返信用封筒(角形2号:204mm×332mm)に1部に付き140円の郵便切手を同封してお申し込み下さい。

(2) 申請書類の提出

- ①受検希望者は、受検申請書類を定められた受付期間内に直接持参されるか、簡易書留又は宅配便(メール便は除く)による送付で、受検を希望する地区の試験事務所へ提出して下さい。
- ②簡易書留又は宅配便による送付の場合は、受付期間中の消印又は受付印のあるものに限り受け付けます。
注)普通郵便やメール便で送られた場合の未着については、一切責任を持ちません。

7. 提出書類

(1) 技能検定受検申請書

受検申請書に記載すべき事項は、正確明瞭に、漏れのないよう受検者本人が記入して下さい。(記入にあたっては、受検者写真確認書記載の「受検申請書類記入上の注意」及び「受検申請書類記入説明」を熟読し、黒色のボールペンかインキで、正確に、ハッキリと書いて下さい。)

(2) 受検者写真確認書

- ①受検者写真確認書に記載すべき事項は、正確明瞭に、漏れのないよう受検者本人が記入して下さい。(記入にあたっては、「受検申請書類記入説明」を熟読し、黒色のボールペンかインキで、正確に、ハッキリと書いて下さい。)
- ②受検者本人の顔写真(カラー写真、縦4cm×横3cm、脱帽・正面上半身、撮影後6ヶ月以内)の裏面に氏名、生年月日及び住所を記入し、指定箇所貼り付けて下さい。
- ③実技、学科両試験ともに免除される者は、写真貼付の必要はありません。

(3) 特別の配慮を必要とする申請書

- ①技能検定試験では、障がい等により既定の受検環境条件では受検者の技能を十分に発揮することが困難であると考えられる場合、技能検定試験の意義が失われることのない範囲で、一部資機材の変更や補助具の使用等特別の配慮を認める場合があります。
- ②特別の配慮を希望する場合は、受検を希望する地区の試験事務所に対し、「特別の配慮を必要とする申請書」を請求し受検申請時に提出して下さい。なお、受検申請時に未提出の場合、特別の配慮が受けられませんのでご注意ください。

注)特別配慮申請書は、受付の混雑する締め切り日近くを避け、できるだけ早めにご提出下さい。

8. 試験時における受検者の主な携行品

学科試験	受検票、筆記用具、時計（腕時計等。ただし計算機能を搭載のものは除く）
実技ペーパーテスト	受検票、筆記用具、時計（腕時計等。ただし計算機能を搭載のものは除く）、電子式卓上計算機
実技作業試験	受検票、作業服（上・下）、作業靴（ヒールマークがつきにくいもの）、タオル、保護手袋（半折りができるもの）

注) 携行品は、受検票にも記載しますので、必ずご確認下さい。

9. 受検票

- ①受検票は、平成 29 年 6 月 2 日（金）に弊協会から受検申請者宛に送付します。
- ②受検票は、試験（実技作業試験、実技ペーパーテスト及び学科試験）に出席する際、必ず持参して下さい。
- ③平成 29 年 6 月 12 日（月）までに受検票が到着しない場合は、弊協会までお問い合わせ下さい。

10. 試験実施場所

北海道、宮城県、東京都、愛知県、石川県、大阪府、広島県、徳島県、福岡県

注) 試験実施場所は、受検申請状況により変更することがありますので、ご注意下さい。

11. 実施地区及び試験事務所

実施地区	試験事務所	所在地	電話番号
北海道	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 北海道地区本部	〒 060-0003 札幌市中央区北三条西 17-2-3 ビルメンテナンス会館	011-615-1100
東北	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 東北地区本部	〒 980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-30 太陽生命仙台駅北ビル 3 階	022-748-7101
東京・ 関東 甲信越	公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会	< 東京又は関東甲信越地区での受検を希望される方は、下記で申請手続きを行って下さい。 > 〒 116-0013 荒川区西日暮里 5-12-5 ビルメンテナンス会館 5F	03-3805-7560
中部北陸	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 中部北陸地区本部	〒 460-0008 名古屋市中区栄 2-1-10 伏見フジビル 8 階	052-265-7500
近畿	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 近畿地区本部	〒 531-0071 大阪市北区中津 1-2-19 新清風ビル 2F	06-6372-9120
中国	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 中国地区本部	〒 733-0812 広島市西区己斐本町 2-19-3 広島ビルメンテナンス会館	082-273-8275
四国	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 四国地区本部	〒 761-0301 高松市林町 2217-15 香川産業頭脳化センタービル 404	087-869-3787
九州	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 九州地区本部	〒 812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-15-12 藤田ビル 4F	092-473-6008

注) その他詳しいことは、上記の各地区試験事務所又は当協会にお問い合わせ下さい。

ビルクリーニング技能検定

平成29年度2級受検申請書

厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会会長 殿

ビルクリーニング技能検定を受検したいので、個人情報保護の取扱い（裏面に記載）について同意の上、申請します。

申請日 平成29年 月 日

		姓	名	検定職種	ビルクリーニング	等級区分	2級	
フリガナ				受検希望 地 区	北海道／東北／東京／関東甲信越／ 中部北陸／近畿／中国／四国／九州			
氏 名				受検番号	※(注3)			
生年月日	昭和 平成	年 月 日生 (歳)		試験会場	<学科・実技ペーパーテスト>※			
性 別	(男・女)				<実技作業試験>※			
フリガナ	〒 -							
住 所	都道府県	市区町村・番地			建物（マンション・アパート）・同居先等			
電話番号・FAX		(日中連絡先)	- -	(FAX)	- -			
受 検 資 格	学 歴	学校名	学科又は課程	所在地	卒業年月日（西暦） ____年__月__日卒業			
	訓 練 歴	訓練施設名	訓練科	所在地	修了年月日（西暦） ____年__月__日修了 (訓練期間： 年 カ月)			
		勤務会社名及び事業所	部署役職名	職務内容 () 清掃	所在地	在職期間（西暦） ____年__月～____年__月 (年 カ月)		
	職 歴			() 清掃		____年__月～____年__月 (年 カ月)		
				() 清掃		____年__月～____年__月 (年 カ月)		
				() 清掃		____年__月～____年__月 (年 カ月)		
					在職年数	計 年 カ月		
免許等の名称 (注2)	免 許 職 種		免許を受けた年月日及び番号 (第 年 月 日号)	受検 資格 判定	※(注3)			
試 験 の 免 除	免除対象	試験、検定、免許等の名称（注2）		合格日または免許取得日	免除資格判定			
	実技試験			(第 年 月 日号)	実技 試験	※		
	学科試験			(第 年 月 日号)	学科 試験	※		
受付地区	※	受付日	※	備考	※			

(注1) 東京地区又は関東甲信越地区を受検希望された場合、会場定員の都合等により両地区の間で受検地区を調整させていただきますので、ご了承下さい。

(注2) 合格通知の写し等、受検資格・試験の免除を証明し得る書類のコピーを添付しなければ受検又は試験の免除を受けられません。

(注3) ※印の欄は、記入しないで下さい。(事務局記入欄のため)

合格証書交付歴

合格証書交付		合格証書再交付		合格取り消し	
技能士番号		交付年月日		取消年月日	
合格年月日		再交付番号		取消事由	
合格証書 交付番号		再交付事由			

「個人情報の取り扱い」について

受検申請者は、個人情報の取扱いについて、以下の事項を確認の上、同意された場合において、申し込みをお願いします。

1. 個人情報の管理について

弊協会は、個人情報の漏洩、滅失、毀損等の防止のため、法令、ガイドライン、及び弊協会の内部規則に従い、必要かつ適切な安全管理策を施し、取扱う個人情報の保護に努めます。また、職員に対しても個人情報の適切な取扱い等についての教育を行うとともに、業務委託先に対しても必要かつ適切な監督を行い、その保護に万全を期するように努めます。

2. 個人情報の取得、利用目的、保有について

- (1) 弊協会は、ビルクリーニング技能検定を行うに際して申請者より個人情報を取得する場合は、本申請書をもって行います。偽りその他の不正の手段により個人情報の取得を行うことはありません。
- (2) 申請書に付された個人情報については、受検資格の確認、受検票および合格通知・合格証書の作成・送付、検定時の本人確認等、弊協会が検定業務を行う際に必要な目的の範囲内において利用します。
- (3) また、弊協会の規定により、申請書は3年間、個人データを含む受検者名簿および検定合格者（ビルクリーニング技能士）台帳については、永年弊協会にて保有します。

3. 個人情報の第三者への提供について

弊協会は以下の場合を除いて、あらかじめ申請者の同意を得ないで個人情報を第三者に提供することはいたしません。

- (1) 合格発表における弊協会資格総合サイト「ビルメンアビリティセンター」(<http://study.j-bma.or.jp>) や、弊協会機関誌「ビルメンテナンス」誌および業界紙誌等に合格者の受検番号を公表する場合。
- (2) 2. の利用目的達成のために、弊協会が適切な監督を行う業務委託先に、申請データの入力作業や受検票・合格通知・合格証書の印刷や書類の送付、統計処理など、個人情報の預託を行う場合。
- (3) 職業能力開発促進法施行規則第63条に基づき、指定試験機関として受検者の成績を記載した受検者一覧表を厚生労働省に届け出る場合。

4. 共同利用について

受付事務等を行う各地区本部については、上記3. に掲げる第三者とは見なさず、弊協会の共同利用者として位置付けます。技能検定を厳正かつ円滑に遂行することを目的に、受検申請書の個人情報に関しては、1. の個人情報管理、2. の取得・利用・保管、3. の第三者への提供等、弊協会と同様に、その保護については万全を期するように努めます。

5. 個人情報の開示・訂正・削除について

- (1) 申請者は、申請書に記載した内容に基づいて弊協会が保有する個人情報について、自己に関する事実に基づく個人情報に限り、弊協会所定の方法により開示を請求することができます。但し、次の各号いずれかに該当する場合には、その全部又は一部を開示しない場合があります。弊協会にて開示しない旨の決定をした場合には、申請者に対して速やかにその旨の通知を行います。
 - ①本人又は第三者の生命、身体、財産、その他の権利利益を害するおそれがある場合。
 - ②弊協会の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合。
 - ③他の法令に違反することとなる場合。
- (2) 開示の結果、内容が不正確又は誤りであることが判明した場合には、弊協会は速やかに当該個人情報の訂正又は削除に関する対応を決定して、申請者に通知するものとします。

6. 個人情報の利用停止等について

弊協会は、申請者本人から、申請者本人が識別される個人情報が2. (2) の利用目的に違反して取扱われているという理由、又は2. (1) に違反して取得されたものであるという理由によって、その個人情報の利用停止又は消去を求められた場合であって、その求めに理由があることが判明した場合には、違反を是正する為に必要な限度で、速やかにその個人情報の利用停止等の措置を講ずるものとします。但し、その個人情報の利用停止等に多額な費用を要する場合等で利用停止等を行うことが困難な場合であって、申請者本人の権利利益を保護する為に必要なこれに代わるべき措置をとるときは、この限りではありません。

また、その個人情報の全部もしくは一部について利用停止等を行ったとき、もしくは利用停止等を行わない旨の決定をしたときは、申請者本人に対して速やかにその旨を通知するものとします。

7. お問合せの窓口について

個人情報の取扱いに関するお問合せ及び4. 個人情報の開示・訂正・削除の請求及び、6. 個人情報の利用停止等の請求に関しては、以下にて受け付けいたします。また、この「個人情報の取り扱いについて」は、全国協会サイト (<http://www.j-bma.or.jp>) にて、閲覧可能です。

<個人情報問合せ窓口>

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 技能検定係

電話 03-3805-7560

受付時間 土・日・祝日を除く平日の9時～17時

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会会長

平成 29 年度ビルクリーニング技能検定・受検者写真確認書

等級区分	2 級		会社名	
受検番号	※		勤務先 常時勤務先 (ビル名)	
受検地区	※		所在地	〒
試験会場	実技	※	電話番号	
	学科	※	FAX	
フリガナ			受検資格判定	※
氏名			免除資格判定	※ 実技 / 学科
自宅住所	〒		写真 貼付欄	<写真について> ①脱帽・正面上半身を撮影したもので、 撮影後6ヶ月以内のもの ②縦4cm×横3cmのカラー写真 ③裏面に氏名、生年月日、住所を記入の 上、全面貼付 (平成 年 月 日撮影)
日中連絡先電話番号				
FAX				

受検手数料収納	
実技試験	※ 実技試験手数料収納済印
学科試験	※ 学科試験手数料収納済印

<受検申請書記入上の注意>	
1. 受検申請書は必ず受検者本人が作成して下さい。 2. 裏面の「個人情報の取り扱い」を必ずお読み下さい。 3. ※印の欄は記入しないで下さい。(事務局記入欄のため) 4. <u>記入には、黒ボールペン又はインキを用い、文字は楷書で、数字は算用数字を用いて、丁寧に記入して下さい。</u> 5. 氏名では略字や俗字を使わず、戸籍記載の正確な字を記入して下さい。 6. 性別は該当するものに○印をつけて下さい。 7. 学歴欄は、受検資格の基礎として職歴等を補完するために記入して下さい。 8. 訓練歴及び職歴欄には、受検資格の基礎となるこれらの経歴を最近のものから順に記入し、記入できない場合には、適宜補助紙を添付して下さい。 9. 職歴の欄の職務内容の項には、従事していた作業をできるだけ具体的に記入して下さい。 10. 試験免除の欄には、免除対象試験の該当するものに○印をつけ、試験・検定・免許等の名称及び合格日又は免許取得日(合格番号/免許番号)を記入し、合格証書や免状等、免除資格を証する書面(コピー)を添付して下さい。	

受検申請書類記入説明

受検資格における「職歴」については正しく記入して下さい。虚偽の記載があった場合は、受検を取り消すこともありますので、ご注意ください。

- 受検申請書受付期間 平成29年3月28日(火)～4月13日(木)
- 受検者本人が必ず記入し、特に氏名、生年月日は、住民票に記載されているとおりに、ハッキリと正確にご記入下さい。
- ※印の欄は記入しないで下さい(事務局記入欄です)

自宅及び日中連絡先の電話番号を記入

受検を希望する地区を選択し、いずれか1つに○印をして下さい。

<受検申請書>

住民票及び戸籍に記載されている氏名を正確に記入

生年月日および年齢を記入

性別はどちらかに○印を記入

住所は、番地だけでなく建物名(アパートやマンション)、何号室まで、同居先等も記入

受検資格に関する学歴を記入

受検条件に関する訓練歴を記入。((一財)建築物管理訓練センターが実施するビルクリーニング科通信訓練はこの欄には記載しない)

現在の勤務会社からさかのぼって、ビルクリーニングにかかる勤務会社名、部署・役職、在職期間、職務内容を記入

職務として行ってきた清掃業務を具体的に記入

この試験の受検に関係のある免許資格を記入

試験免除資格のある方は、該当する試験に○印を記入

((一財)建築物管理訓練センターが実施する通信訓練あるいは過去に合格した実技や学科試験の一部合格等を記入

ビルクリーニング技能検定
平成 29年度 2級受検申請書

厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 会長 殿

ビルクリーニング技能検定を受検したいので、個人情報保護の取扱い(裏面に記載)について同意の上、申請します。

申請日 平成 29 年 ○○ 月 ○○ 日

フリガナ	姓	名	検定職種	ビルクリーニング	等級区分	2級
	キレイ	ズキヨ	受検希望地区	北海道/東北/東京/関東甲信越/中部北陸/近畿/中国/四国/九州		
氏名	綺麗 好代		受検番号	※(注3) <記入不要>		
生年月日	昭和45年3月3日生(39歳)		試験会場	<学科・実技ペーパーテスト>※		
性別	(男・女)			<実技作業試験>※		
フリガナ	〒116-0013	市区町村・番地	建物(マンション・アパート)・同居先等			
住所	東京都	荒川区西日暮里×-×-×	コーポ日暮里 102号			
電話番号・FAX	(日中連絡先) 03-1234-5678		(FAX) 03-1234-5678			
学歴	学校名	学科又は課程	所在地	卒業年月日(西暦)		
				____年__月__日卒業		
訓練歴	訓練施設名	訓練科	所在地	修了年月日(西暦)		
	東京都立品川技術専門学校	東京都品川区東品川3-31-16		20XX年_4月_9日修了(訓練期間: 年_6ヶ月)		
受検資格	勤務会社名及び事業所	部署役職名	職務内容	所在地	在職期間(西暦)	
	建物清潔一番株式会社	班長	(一般) 清掃	東京都港区新橋×-×-× 新橋清潔ビル	20XX年_9月~20XX年_3月(1年_6ヶ月)	
	株式会社ビルコーポレーション	業務課	(一般) 清掃	神奈川県横浜市中区桜木町××	20XX年_4月~20XX年_9月(2年_5ヶ月)	
					____年__月~____年__月(____年__ヶ月)	
	免許等の名称(注2)	職業訓練指導員	免許を受けた年月日及び番号(第____年__月__日号)	受検資格判定	※(注3) <記入不要>	
試験の免除	免除対象	試験、検定、免許等の名称(注2)	合格日または免許取得日(第____年__月__日号)	免除資格判定		
	実技試験	実技試験一部合格		実技試験	※ <記入不要>	
	学科試験	ビルクリーニング科通信訓練 単一等級技能士コース	H21年9月30日(第XXX号)	学科試験	※ <記入不要>	
受付地区	※ <記入不要>		受付日	※ <記入不要>		備考

申請月日(提出月日)を記入

(注1) 東京地区又は関東甲信越地区を受検希望された場合、会場定員の都合等により両地区の間で受検地区を調整させていただきますので、ご了承下さい。
(注2) 合格通知の写し等、受検資格・試験の免除を証明し得る書類のコピーを添付しなければ受検又は試験の免除を受けられません。
(注3) ※印の欄は、記入しないで下さい。(事務局記入欄のため)

技能検定試験一部合格者は合格日・合格通知番号を記入。通信訓練修了者は修了証書の日付及び修了番号を記入

勤務先が複数の場合、在職期間の合計(通算何年何ヶ月)を記入

受検申請書類記入説明

受検資格における「職歴」については正しく記入して下さい。虚偽の記載があった場合は、受検を取り消すこともありますので、ご注意ください。

平成 29 年度ビルクリーニング技能検定・受検者写真確認書

等級区分	2 級		会社名	所属会社名を記入	
受検番号	※ <記入不要>		勤務先 (ビル名)	建物清潔一番西日暮里営業所	
受検地区	※ <記入不要>		所在地	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 ×-×-× 西日暮里駅前ビル ×××× ××××	
試験会場	実技	※ <記入不要>	電話番号	03-××××-××××	
	学科	※ <記入不要>	FAX	03-××××-××××	
フリガナ	キレイ ズキヨ		受検資格判定	※ <記入不要>	
氏名	綺麗 好代		免除資格判定	※ <記入不要> 実技 / 学科	
自宅住所	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 ×-×-× コーポ日暮里 102号		<写真について> ①脱帽・正面上半身を撮影したもので、撮影後6ヶ月以内のもの ②縦4cm×横3cmのカラー写真 ③裏面に氏名、生年月日、住所を記入の上、全面貼付 (平成 年 月 日撮影)		
日中連絡先電話番号	03-××××-××××				
FAX	03-××××-××××		証明写真を貼り付ける		

常時勤務している場所(現場等)の名称及び所在地、電話番号・FAXを記入

住所は、番地だけでなく建物名(アパートやマンション)、何号室まで、同居先等も記入

日中連絡先の電話番号とFAXを記入

必ず記入

受検手数料収納	
実技試験	※ 実技試験手数料収納済印
学科試験	※ 学科試験手数料収納済印

<記入不要>

<受検申請書記入上の注意>

- 受検申請書は必ず受検者本人が作成して下さい。
- 裏面の「個人情報の取り扱い」を必ずお読み下さい。
- ※印の欄は記入しないで下さい。(事務局記入欄のため)
- 記入には、黒ボールペン又はインキを用い、文字は楷書で、数字は算用数字を用いて、丁寧に記入して下さい。
- 氏名では略字や俗字を使わず、戸籍記載の正確な字を記入して下さい。
- 性別は該当するものに○印をつけて下さい。
- 学歴欄は、受検資格の基礎として職歴等を補完するために記入して下さい。
- 訓練歴及び職歴欄には、受検資格の基礎となるこれらの経歴を最近のものから順に記入し、記入できない場合には、適宜補助紙を添付して下さい。
- 職歴の欄の職務内容の項には、従事していた作業をできるだけ具体的に記入して下さい。
- 試験免除の欄には、免除対象試験の該当するものに○印をつけ、試験・検定・免許等の名称及び合格日又は免許取得日(合格番号/免許番号)を記入し、合格証書や免状等、免除資格を証する書面(コピー)を添付して下さい。